

# 研修医新聞

平成27年11月27日 第61号



武岡 真美

鈴鹿中央総合病院

あっという間の1ヵ月間でした。三重県出身ではありませんが、紀南病院へ来るのは初めてでした。はじめて来たときには、山の深さ、海のきれいさ、空いっぱいの星にびっくりしました。病院から見える海に癒される毎日でした。来年度以降は小さなころからの夢であった小児科医として働く予定であり、研修ローテーションの関係上、成人内科は紀南病院が最後になります。担当医として病棟管理をさせていただいているうちにもっと内科を学びたいと思った1ヵ月でした。

地域医療を知るには1ヵ月は短い期間でしたが、私なりに感じた地域医療は『人と人とのつながりを大切とした医療』ということです。研修医になってからは病態、どのような検査をするか、治療はどうかなどを主に学び、考えてきました。病棟、診療所、ミニタウンミーティングなどを通して、患者さんやご家族、地域の方と近くで接することで、患者背景や今後のプラン等まで見据えて医療を行っていくことが大切だと感じました。

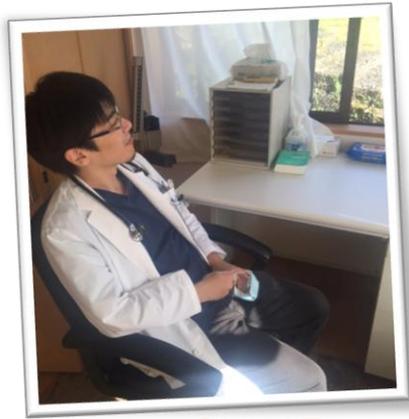
紀南病院で学んだことを忘れずに、出会った方々に感謝して日々精進していきたいと思えます。ありがとうございました。



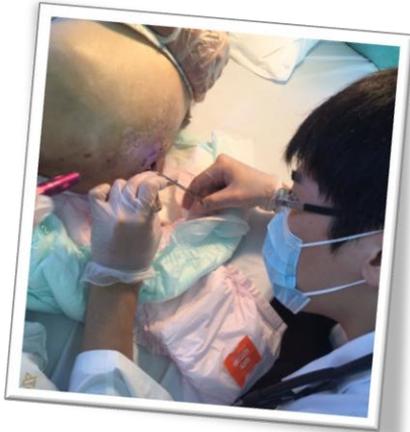
オーベンとカンファレンス中



患者さんと。



1日診療所長



褥瘡処置



指導の下、PEG 増設中

## 覺野 重毅

### 堺市立総合医療センター

私は堺で生まれ育ち、堺でつとめています。ずっと大阪以外から出て暮らしたことはありませんでした。1ヶ月間、紀南病院で研修させていただいて、地域医療に関しても何も知らなかったなど改めて思いました。大阪では、いろいろなところに2次病院から3次病院まであり、お互いの病院がお互いを意識し合いながら、場合によっては救急車を押しつけ合うような状況があります。紀南病院にきて思ったことは、この地域でここしか病院がないという状況でした。さまざまな疾患があるなか、この病院しかなく、受けざるを得ない。ほかの病院に送るかどうかも状況による判断という大阪の病院とはまた違う責任感を感じる実習でした。入院中の患者さんも、高齢の患者さまが多く、その方々のend pointを考えるのが非常に難しいと感じました。今実習している病院は急性期病院なので、なかなか看取りまでは至らないことが多いのですが、それを考えることができたのも医師として大切な経験をさせていただきました。

書き切れないのでその他は、写真のみをみただけだと楽しんでしまったのはわかっていただけだと思います。今度は新しい家族も連れて、御浜町へ来たいと思っています。そのときはよろしくお願いします。

短い間でしたが、ありがとうございました！

紀南病院で研修したことを忘れずにがんばっていきます！

